

あの公文さんがやってくる！

香川県 農福連携推進セミナー

～地域主体の仕組みづくりと連携のあり方～

(農福連携地域協議会の事例紹介研修会)

農福連携を地域課題として幅広い視野で捉えていただく機会として、高知県安芸市や香川県内での事例を紹介します。

令和8年 11 月 20 日(金) 13:30～15:45

綾歌総合文化会館アイレックス 小ホール

(香川県丸亀市綾歌町栗熊西 1680)

13:30～14:15 安芸市農福連携研究会事例紹介

(医療法人おくら会芸西病院 地域生活支援室長 公文一也 氏)

14:15～14:45 「やまもも」・西讃地区での農福連携事例紹介

(障がい福祉サービス事業所やまもも施設長 石川浩久 氏)

15:00～15:45 パネルディスカッション

- ・地域内での福祉事業者間および行政との連携
- ・地域協議会の運営のあり方について



農福連携には、官民の組織を超えた連携が必要です。

研修会では、安芸市でなぜ地域協議会が必要だったか、どのようにして立ち上がったかをお話しします。

医療法人おくら会芸西病院 公文一也

内容	講 師
安芸市農福連携研究会 事例紹介 (45 分程度)	医療法人おくら会芸西病院（高知県安芸市） 地域生活支援室長 公文 一也 氏 平成 23 年、県内で最も高い自殺率（翌年には全国第 3 位）であったことをどうにかするため、安芸市で農福連携の取り組みが始まりました。平成 30 年には農福連携を推進するために地域に生きづらさの理解を拡げていくための会として、安芸市農福連携研究会が設立され、令和 8 年現在、協力農家 34 戸、就労者 120 名にまで発展した取り組みとなっています。
「やまもも」及び西讃地区 での農福連携事例紹介 (30 分程度)	障がい福祉サービス事業所やまもも（観音寺市） 施設長 石川 浩久 氏 「地域と共に歩む取り組みを大切に広げていく」という理念のもと、施設外での就労に力を入れる中、農福連携では地域の事業所の代表格となっています。近年では、開発した「瀬戸のおばあ物語」が、市のブランド認証品に認定されるなど、「地域の顔」となる取り組みが実を結んでいます。
パネルディスカッション (45 分程度)	【コーディネーター】香川県社会就労センター協議会 事務局長 野保昌弘氏 【パネリスト】 上記講師 2 名 高松市農福連携推進協議会 事務局 三好和博氏

申込方法

No	ふりがな 氏 名	所 属 名 ・ 施 設 名 ＊生産者の方は、法人、部会等	住 所 (市町名まで)	連絡先電話番号 (携帯電話可)
1				
2				
3				

事前質問欄（演者に聞いてみたいことを、できるだけ記載ください。当日回答いたします。）

下記申込表に必要事項をご記入のうえ、この用紙を FAX してください。
同じ内容を記載したメールでもお申込みいただけます。

香川県農政水産部農業生産流通課 野菜グループ
TEL : 087-832-3422（問合せ： 香西、○中村）
FAX : 087-837-2481（参加票送付）
メール : ab1333@pref.kagawa.lg.jp（中村）

申込締切
11 月 13 日